

# Niigata University

2010年秋号  
No.176

# 新大広報



特集

# きて!みて!NHK


New 新大図鑑

New 学科のもっと知りたい  
そこんところ!

学生Interview!!

Who Do?(food)  
第4回 お豆腐deお好み焼き

新大広報 編集室便り

 新潟大学



第一回目の講義風景。マスメディアに興味のある非常に多くの学生が受講しています。

感想Interview

実際に受講した学生の皆さんの声を聞いてきました！

NHKに就職したいと考えており、その勉強の一環として今回の講座を受講しました。自分が興味のあるドキュメンタリー制作についての話をきくことができたため参考になりました。今後も受講をしていく予定です。



人文学部 男

今回の受講の理由はアナウンサーの方の「伝える技術」を参考にしたいからです。1つの情報を伝えるためにその情報の本質や、周辺の情報をみることが重要であると分かりました。また、表現の仕方にも身振り手振りなどの工夫がなされているという点が面白かったです。



法学部 男

将来はアナウンサーになりたいと考えており、アナウンサーの方が講師を務めると知り受講しました。いままでアナウンサーについて調べてきたことと講師の方の経験談を比較できたため、理解を深めるうえで参考になりました。



教育学部 男

公共放送の意義をどのように学生に伝えるかという点に興味があって参加しました。話術のプロであるアナウンサーから、日常のコミュニケーションにおいても大切な話し方について聞いたことが印象に残っています。



工学部 男

# きて！みて！



「NHKってどんなところ？どんなことをしているの？」  
身近でありながらも、わからないことの多い放送の世界。  
今回、新潟大学とNHKのコラボレーション企画として特別連続講座が開講されました。  
5月～7月、10月～来年1月に毎月ほぼ1回ずつ開催され、NHKの放送の現場で活躍する方のお話をきくことができます。  
また、講座を受講してみて、NHKでの番組制作の様子と局員さんの働く姿をより詳しく見てみたいと思い、NHK新潟放送局に見学に行ってきました。  
このコーナーでは、講義の内容と見学の様子を紹介したいと思います。



講義後、学生からさまざまな質問が飛び交いました。

これまでに開講された講義内容

第1回 『公共放送NHKの今』  
講師：菅 俊秀 局長  
民間放送でも、国営放送でもない、公共放送としてのNHKとは、どんな放送局なのでしょう。NHKはこれまでどのようにして報道をしてきたかなどのNHKの歴史や、他国の放送との比較を通してNHKの今の姿を教えてくださいました。

## NHKに突撃取材!!

「今回の講義についてNHK新潟放送局局長にお話を伺いたいです!!」とお願いしたところ、なんと!!! 新潟放送局を取材させていただくことになりました。ご厚意に感謝です★今回の訪問取材では様々な役職・職種の方々にインタビューをしてきました!!

まずはじめにNHK新潟放送局 局長 菅俊秀さんにこの特別連続講座「公共放送NHKの現場から」についてのお話を伺いました。

■まず講義のいきさつですが、昨年NHK新潟放送局で就職説明会を行った時に、NHKのことをよく知らない方が多くいました。我々は「NHKを知ってもらいたい」ということで、「公共放送NHKの現場から」という特別連続講座を開くことにしました。講義では学生の皆さんが非常に熱心に聴いており、質問も活発に出たので、NHKに対する関心が高いものになってよかったなと感じました。  
講義で皆さんに知ってもらいたいのは、NHKが国民のために仕事をしていることです。  
皆さんの知りたい情報、見たい番組を視聴者の視点に立って考えながら扱っていることを知ってもらいたいです。記者やディレクターは「視聴者にとってこれは重要なことだ」と思って早朝から夜遅くまで取材しています。ですから本講義でNHKの仕事を通して私たちが社会のために働いているところを見てもらいたい。私も大学生の時は、社会の役に立ちたいという気持ちを持っていました。皆さんも同じだと思います。「ぜひ一緒に仕事をしたい」という学生さんが増えると私達もうれいですし、志してもらいたいです。  
最後に、NHK新潟放送局に見学に来られるのは大歓迎です。取材の現場など、普段どういう風に仕事をしているかを見せられる部分はできる限り見せたいと思っています。せっかく新潟にあるNHKですから皆さん利用しない手はありません。皆さんのNHKだから。常に開かれています。



NHK新潟放送局局長 菅 俊秀さん



局長は他局の番組もチェックしています

続いては、総合デスクの山家亜人武(あとむ)さんと営業部の山口大輔さんにお話を伺いました!

■技術職の仕事はカメラ・音声・ビデオエンジニア\*が主です。女性や理系以外の学科の出身者も活躍しています。過去に私はJリーグの開幕戦や国会中継を経験しました。海外ではエジプト、カナダ、北方領土も行きました。その中でもエジプトは私が技術の総責任者だったので一番印象が強いです。(仕事の際の)服装はいつも動きやすい格好をしています。現場に急行しなければならないし、雨が降ろうと泥だらけになろうと現場を撮らなければなりませんから。マスメディアに興味をもつ学生に伝えたいことは自分の殻に閉じこもらずたくさんのお話を吸収してください。そして夢を持ち続けてください。



技術(総合デスク)専任エンジニア 山家 亜人武さん

\*ビデオエンジニア:中継車の中でシステムを組んだりテレビ上の色や明るさを合わせたりする仕事のこと。

■私たち営業部は受信料に関する仕事をしており、北は村上市から南は糸魚川市までを一つの部署で担当しています。そのためNHKの職員だけでなく、地域ごとに業務を委託したスタッフと一緒にお客様への対応をしています。学生さんに向けた言葉は「社会人になることは“自由”を得ること」です。NHKは大人数の組織ですが、各スタッフが学歴など関係なく同じフィールドの中で自由に意見を出し合い、切磋琢磨できるという特徴があります。新大生のみならずもさまざまなことを考えて仕事を選ぶと思いますが、思い通りにいかずとも視点を変えれば多くの可能性があるのです。ですので、希望をもって自分で考え、自由に取り組んでほしいです。



営業部 山口 大輔さん

第2回 『NHKの番組ができるまで』  
講師：松岡大介 チーフプロデューサー  
番組はどうやって作られているのかを、ドキュメンタリー番組を例に挙げて見せてもらいました。取材を通じて様々なものや人に出会えるという番組制作の魅力や、面白いネタを見つけるために普段から色々な物を注意深く見るという姿勢など、放送の世界ならではのことも知ることができました。

第3回 『伝えることの楽しさ難しさ』  
講師：熊倉 悟 チーフアナウンサー  
放送の世界だけでなく、普段の私たちの生活にも必要な「伝える力」について語ってもらいました。熊倉さんは「難しいことはわかりやすく、わかりやすいことは面白く、面白いことはより深く」をモットーにされているとのこと。わかりやすく伝えるには言葉だけでなく、ゼスチャーも織り交ぜるなどして表現に工夫を加えることが大切なのだそう。

最後に夕方のニュース「新潟ニュース610」でおなじみのアナウンサー小山 径さんにお話を伺いました。

■原稿を読む練習はいつからしているか  
(担当している番組は夕方の6時過ぎからですが) 昼ごろに取材が終わった原稿は4時半ぐらいには出ていますので、目を通します。しかし、事件事故や裁判ものは取材に時間がかかるため本番中に原稿がくることも多いです。



アナウンサー  
小山 径さん

■プロとして意識していることは  
本番中は「いつも何とかかなる」と思っています。本番中に私が動揺すると、視聴者にもそれを見透かされますし、スタッフもミスをするという悪い連鎖になってしまいます。

■仕事について

アナウンサーは原稿を読むだけでなく、取材もします。取材相手のいい表情を撮るためにはどうすればいいか、どんな構成で話を進めていけばいいかを考えて、常に言葉を選んでいきますね。

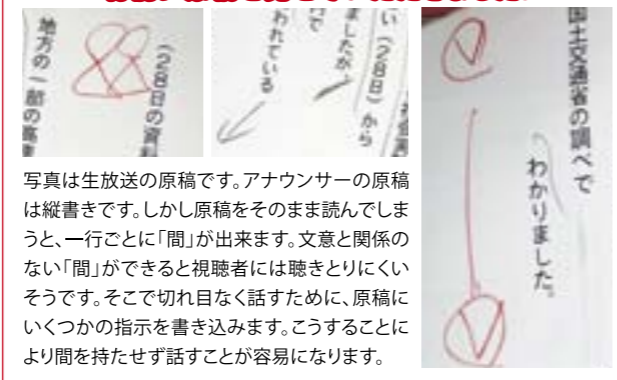


原稿を読む練習中です。

■新大生にひとこと

いろんな人に会うことです。そのことにより、自分の思っていたものと違う方向があると気づくこともあります。迷ったらいろいろなことにチャレンジするのもいいと思います。

特別に原稿を見せていただきました!



写真は生放送の原稿です。アナウンサーの原稿は縦書きです。しかし原稿をそのまま読んでしまうと、一行ごとに「間」が出来ます。文意と関係のない「間」ができると視聴者には聴きとりにくいです。そこで切れ目なく話すために、原稿にいくつかの指示を書き込みます。こうすることにより間を持たせず話すことが容易になります。

特別連続講義・NHK新潟放送局の取材を通じて

普段なにげなく観ているテレビ番組はさまざまな方の努力とあらゆる工夫のうえに成り立っているものだということを実感しました。講義のなかで教わった『常に社会の動きを捉えようとする姿勢』や、『表現方法の多様性』などはメディアに携わるうえではもちろんのこと、日常生活においても役立つものばかりでした。まだ講義に参加したことのない方は、ぜひこの機会に「メディアの現場」に触れてみませんか?



生放送の前なので緊張感が漂っていました。



アナウンス体験



小山アナと一緒にスタジオで記念写真

追加講座  
決定!!

10月21日(木) 『NHKの国際放送について』 講師:久保智司 NHK国際放送局ニュース制作部長

今後の開講スケジュール

- 第4回 10月28日 『ニュース取材最前線』
- 第5回 11月 4日 『デジタル化が進む放送技術』
- 第6回 12月 9日 『カメラが伝えるニュースの現場』
- 第7回 1月20日 『NHK新潟放送局の取り組み』

●各回とも16:30~17:30 ●会場は総合教育研究棟B355講義室  
申込手続きは不要なので、どなたでもご自由に参加できます! 第4回の講師は新潟大学OBの方です。

# 新大図鑑

新潟大学は昨年60周年、医学部は今年100周年。

ルーツを辿ればさらにさかのぼることができるほど、

新潟大学には古くからの歴史があり、

いかキャン<sup>※1</sup>・あさキャン<sup>※1</sup>ともに様々な変化を重ね、現在の姿があります。

特にこの数年で各キャンパスも進化を遂げ、新しい顔が沢山見られるようになりました。

このコーナーでは、キャンパスの「新顔さん」を発掘&調査して紹介します!

名付けて「新大図鑑」!! (ずキャンって呼んでね)

※1:いかキャン・あさキャン

それぞれ新潟大学五十嵐キャンパス、新潟大学旭町キャンパスのこと。新大広報学生編集スタッフが考えた造語。



この写真はとある建物・ある場所の昔の姿。  
今はどんな風に変化したのか…。答えは次のページに!

# 【正門】

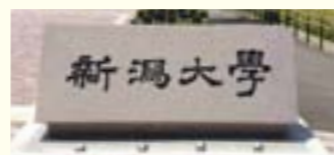


P4の左側の写真は新正門ができる前の様子。今は拓けて見通しがよくなりました。



**レンガベンチ** イベント開催をしたい場合は総務課にお問い合わせください!  
[6月3日~10日まで地域の方による薔薇の展示会が開催されました。]

**整備時期**◎平成22年3月  
**整備背景**◎新潟大学創立60周年記念事業の一環、歩行者・自転車の安全確保  
**用途**◎通行・休憩、レンガベンチでのイベント開催  
**その他**◎大階段では雨が降った後、しばらくすると信濃川河口の模様か浮かび上がるかも?! デザイン案は新大生・卒業生を対象に公募されました。



**銘板** 国会議事堂や彌彦神社にも使用されている新潟安田産の草水石[くそうずい]新潟大学全学同窓会からの寄付。銘板前のカメラマーク・足跡マークを使えばベストショット確実!

**日時計** 創立記念日の6月1日に時刻をあわせてある。  
創立60周年に合わせて、直径が約60cm  
高さは新潟大学主要キャンパス地[五十嵐・旭町・西大畑+長岡学校町]の面積約262千坪に合わせ262cm  
下から五十嵐・旭町・西大畑+長岡学校町の面積比でラインが入っている

**正式名称**◎新潟大学駅南キャンパスときめいと  
**由来**◎「ときめいと」は愛称でその名称は、新潟大学が支援している“朱鷺”と、市民との交流を表す“ときめき”、級友の“Mate”という意味が込められている。  
**設立時期**◎平成21年9月  
**設立背景**◎地域社会への知的貢献を行う拠点、新潟大学の宣伝・広報  
**用途**◎公開講座の受講、講座の開催、学生と地域の方々との交流の場  
学割証・在学証明書等の発行、休憩場所



**ときめいと正面入り口**  
この壁紙サインには、“鉄錆”を使用。錆は空気中の水分を吸収する性質があるので、湿度の高い新潟ではどんな変化が起こるのか、見物。

「P4の右側の写真は、『ときめいと』の前にあった駅南キャンパス『CLLIC』。より交通の便がよくなり、様々なイベントも行うことができるように『ときめいと』に生まれ変わりました!」

**設置場所**／新潟駅南口から徒歩3分、PLAKA1の2F  
**開館時間**／月～金(8:30～21:30)、土日(9:00～21:00)  
**開館日**／12/28～1/3の年末年始以外の毎日!  
**利用方法**／講座や催し物、会議などで「ときめいと」を使用したい場合は、下記のHPからアクセス!!  
**URL** <http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/> (PC)  
また、パソコンコーナーには自由に利用できるパソコンを3台設置。  
ここで、学割証・在学証明書などの書類の発行も可能。

※また、「ときめいと」では11月までの毎週木曜日に、受験生とその保護者を対象とした、「気軽に進路相談室」を開催しています。時間は16:00～19:00。新潟大学のことを知りたい受験生、必見です!!

# 【ときめいと】



**休憩コーナー** 暇な時や買い物に疲れた時、ぶらっと立ち寄ってここでのんびりしていくのも◎。



**講義室A** これまでに様々な公開講座や講演会などが行われた。



**多目的スペース** ここでは、医学部創立100周年記念展示や落語研究部の口演会などが開催され、幅広いイベントを行うことが可能。

# 【ベンラボ】



外観



研究室

「VBLでは総合大学に相応しい高度の医工農連携研究を展開しながら挑戦意欲旺盛な人材育成を行っている。特に、カスタムメイドの人工関節やレーザー治療法の開発、抗菌材料や医用複合材料の開発等の研究に力を注いでいる。また、小型ベットの骨盤骨折用創外固定装置を開発し、劇的な治療率向上にも貢献している。他方、半年で小中校生966名が見学に訪れ、研究は勿論、顔面を素早く作る技術や氷の世界を体験する等地域に開かれた施設としても知られている。」

**正式名称**◎新潟大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (VBL)  
**設立場所**◎新潟大学五十嵐キャンパス内(西門から徒歩1分直進、左手側)  
**設立時期**◎平成16年4月  
**設立背景**◎研究開発、人材育成  
**主要研究**◎メカノメディカルサイエンス  
**組織長**◎原利昭(自然科学系(工学部)・教授)  
**URL**: <http://www.vbl.niigata-u.ac.jp/> (PC)



# 赤門

コラム・変わらないモノたち  
『赤門』

新潟大学医学部正門。通称「赤門」(以下「赤門」表記)は、赤煉瓦と白い花崗岩のコントラストが鮮やかな辰野式フリー・クラシックスタイルが特徴的だ。1914(大正3)年に建てられた表門部分は55cm四方、高さ2.7mの門柱2本からなり、149mに渡る扉は、1911(明治44)年に建てられた。何度か修繕を行い、また車の出入りのために門の幅が広げられる(1982年)といった外観の変化はあったものの、設立当時の姿をほとんどそのままの状態に維持している。現在、赤門以外の当時の学校周辺、校舎の面影は残っておらず、大学院医歯学総合研究科の追手嶺(おいてたかし)教授(1971年卒)は、「学生の頃の建築物は、赤門しか残されていない。赤門は昔を思い出す、最高のシンボルだ。」と語る。  
2005(平成17)年11月、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」として国の登録有形文化財に登録された。

**1914** (大正3年) 上は赤門設置当初の写真。年代を追っていくと、向かって左の松、門柱上部の電球や柵など所々に変化が見られる。



**1941** (昭和16年)



**2010** (平成22年)

赤門の復元(平成22年5月)のために使われた赤煉瓦は、小樽の赤レンガ倉庫に残されていたものを取り寄せ、使用している。花崗岩はそのまま再利用された。

# 学科の もっと知りたい そこへトコロ!

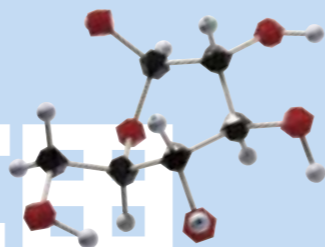


学生インタビュー

左から理学部物理学科4年 大矢政基さん、同2年 緒形桂さん、同2年 太田俊平さん

## ■物理学科の勉強内容

物理学科ではどのような勉強をしているのだろうか。まず、1・2年の授業で基礎を固める。まだ専門科目は少なく、**数学がとても多い**。うっかり「あれっ、数学科かな」と思うほどだそう。授業では、高校のころに覚えた方程式を解きなおしたり、見方を変えて解いたりする。それは「**つじつまが合う感覚で気持ちいい**」と太田さんは語る。3年生からはより応用的な物理学となり、4年生からは研究室に配属され、物理学の最先端を研究する。だが、必ずしも成果を確信して研究しているわけではない。新しい利点があるのではないかという**可能性を探りながら研究を進めている**のである。



## ■文系とのギャップを感じる時

この質問に、3人それぞれ違う答えをもらうことができた。太田さんは「文系の授業内容が本当に分からない」と言う。「90分(という授業の間)、一体どうしているのか、まったく想像がつかない」と不思議に思うそうだ。緒形さんは「授業のコマ数が全然違う」と答える。CAP制がないために感じるギャップだろう。大矢さんは「**理系が集まると会話の内容が特殊になる**」と語る。例えば、「缶詰のミカンの皮は水酸化ナトリウムで溶かしているらしいよ」といったような話が飛び交うことがある。

## ■授業で実験が占める割合

物理学科では、実験の授業は意外と少ない。**白衣を買わないこと**が理学部の中での物理学科の特徴となるほどだ。1年生は週に1回、2年生は全くない。3年生になると週に2回で3週間に1つの実験をし、そのあとにレポートがある(その量なんと40枚に及ぶことも!!)。4年生は研究室によって理論系と実験系に分かれ、それによって実験の頻度は変わってくる。

## ■小話

いかにも物理学科らしいエピソードを大矢さんから聞くことができた。あるとき、研究室で鍋でもしようということになった。しかし、ホットプレートを使ってプレーカーが落ちてしまったら、研究室のパソコンがまずいことになる。普通なら、あきらめるか、場所を移動しようものだが、**物理学科の学生は電力計算を始めるのだ!**「プレーカーがたぶん20アンペアでアウトだから、ホットプレートが何ワットで……」

## ■物理学科のココがスゴイ!!

後藤研究室(物性実験グループ)は、5台もの高性能冷凍機(※注)を所有している。この研究設備は、**国際的に見てもトップクラス**だ。また、後藤研究室は物の固さ(弾性定数)を測る**世界拠点**となっている。



※高性能冷凍機とは?  
液体ヘリウム(4He, 3He)を使い、様々な物質をほぼ絶対零度まで冷やすことができる実験装置。

### 響きのいい用語 ①

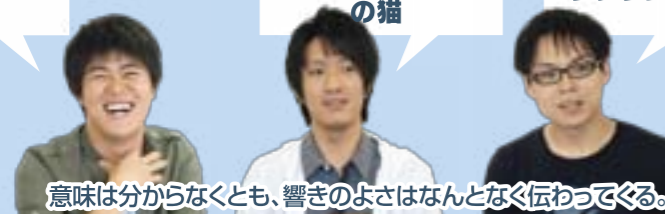
フォトマル

### 響きのいい用語 ②

シユレディンガーの猫

### 響きのいい用語 ③

ラグランジアン



意味は分からなくとも、響きのよさはなんとなく伝わってくる。

## 物理学科長 宮田等先生に聞きました

新潟大学の物理学科は、地方大学の中でも特に規模が大きく、教員数が充実しています。そのため、さまざまな分野の物理学を学ぶことができます。物理学には、『宇宙は何でできているか?』『タイムマシンは作れるか?』などの知的探究心をくすぐる問題を追及できるというロマンや面白さがあり、そして、学んだことを人々の生活に役立つものに応用できるという喜びや生きがいにも満ちています。物理学科に入ろうと考えている人や物理学科の学生には、好きなことに存分に取り組む中で自分のやりたいことを見つけ出し、高い目的意識をもってもらいたいですね。

自然科学系(理学部物理学科) 教授 **宮田 等** 先生(ミヤタヒトシ)  
HP:<http://www.hep.sc.niigata-u.ac.jp/~miyata/> (PC)



あなたは自分が所属している以外の学科のことをどのくらい知っているだろうか? おそらく多くの人があまり知らないのではないだろうか? そこで今回、さまざまな学科について知ってもらうべく調査を開始した。第1回目は理学部の物理学科と地質科学科の実体に向けるため、各学科の学生と先生に話を伺った。

# 地質科学科

理学部 学科

## ■地質科学は推論の世界

入学前のイメージと入学後でどんなギャップがあったかを聞いてみた。「入学前は理学部なんて『絶対的』なイメージを持っていました。1+1=2であるように、地質学でも絶対的な答えを求められると思っていました。でも**実際は過去に起こったことですから、推量の域を超えられない**んですよ。教科書も最後は全部「~だろう」で終わるんです。そこがギャップでしたね。」なるほど。確かに大昔に起こったことは、人類がまだいないわけなので証明ができない。大変深いお話であった。

## ■実習は新潟から海外まで

野外実習が多いという地質科学科。いったいどんなところに行くのだろうか? 「県内だと糸魚川や笹川流れ、県外だと角田市や秩父市、下仁田町に行きましたね。海外だと韓国やオマーンに行きました。」と、国内外問わず実習に行っているようだ。そんな実習の感想も聞いてみた。「実習の良いところは体を動かすことですね。理学部でここまで体力を使うのはこの学科だけです。あとキャンプも過酷だけど楽しかったですね。」デコボコ道や山道を重い道具を担いで行くわけなので、体力はつくかもしれない。

※注:すべての研究室がオマーンに行くわけではありません



クリノメーター  
走向・傾斜を測るための道具

地下足袋  
足の裏にゴム底がついた作業用足袋

## ■岩石から地球の内部を知る

春日さんに普段どのような研究をしているか訊ねてみた。「オマーン等に岩石を採りに行き、それらの岩石を薄く削る作業をしますね。薄くすると鉱物を顕微鏡で観察できるほか、機械で鉱物の化学組成を分析できます。」とのこと。また鉱物の組成から岩石の生い立ちを特定でき、そして**地球内部の現象を検証**できる。ちなみにオマーンは中東アジアの国で、大昔のマンテルが地上に露出している地である。

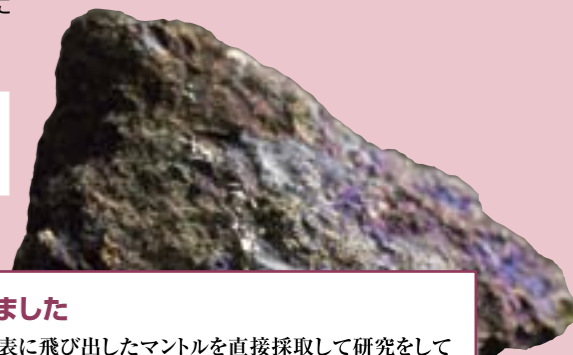


学生インタビュー  
理学部地質科学科4年 春日良一さん

### ●オマーン



研磨機 岩石を薄く削るために使用



### 響きのいい用語 ④

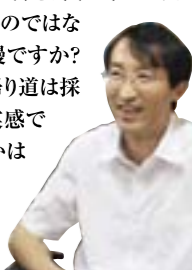
ゴアテックス



## 地質科学科 高澤 栄一先生に聞きました

私の研究室では「マンテル岩石学」という、地表に飛び出したマンテルを直接採取して研究をしています。一番採掘をしに行っているのが北海道の日高山脈です。また最近ではオマーンにも行きます。オマーンにはオマーンオフィオライトという、地上に露出しているマンテルを確認できます。違った場所で違ったマンテルを調査することで、多岐に渡るマンテルの性質を見抜くことができます。マンテルを研究するきっかけですが、学生時代に日高山脈のマンテルについて卒業研究をしました。未だにその研究が終わってないというか……笑 4、5種類の鉱物で構成されていて単純そうなんですけど、実は奥が深い。それが研究の面白さですかね。採掘した岩石は持ち帰ります。一回のオマーンの調査だと少ないときは300kg、前は600kgくらい採掘してきたのではないのでしょうか?持ち帰った石はこの理学部内にありますよ。私の研究室の自慢ですか?自慢はオマーン調査の歩く距離ですね。3週間滞在して、1日25km歩きます。帰り道は採掘した石を持って帰るので大変ですね。でも運び終わった後というのは充実感で満たされます。そうやって足腰を鍛えることができますよ。おかげで私なんかは健康的です笑

自然科学系(理学部地質科学科)准教授 **高澤 栄一** 先生(タカザワエイイチ)  
HP:<http://geo.sc.niigata-u.ac.jp/~takazawa/> (PC)



# 自分の 学生 Interview!! 居場所

同じ立場の学生のモチベーションや活躍ぶりを伝えて、  
新大生の向上心を高めることを目的とした企画です。  
第4回目は、中越地震復興支援などを行っている  
「越後∞」(えちごや)の代表として活動している“輝人(キラット)”です。

※輝人=新大広報学生編集スタッフが考える「輝いている人」のこと

農学部(農業生産科学科)4年生

阿部 薫(アベカオル)

宮城県出身。越後∞現代表。趣味は日本酒の勉強(もちろん飲むことも!)、そして特技は少林寺拳法。

[越後∞HP]

<http://echigo8shuraku.blog24.fc2.com/>



# AORU ABE



>>>越又にて、越後∞メンバーが田植えに挑戦!



## 活動内容(越後∞とは)

最初に越後∞(えちごや)の  
活動内容を教えてください。(俊樹)

活動内容は月に1回、中越地震で被災した  
集落に行って、農作業を手伝ったり、地震で  
崩れたところの補修作業をしたり、お祭や  
蛍の鑑賞会などに参加しています。また、  
去年から、越又集落というところで田んぼ  
を借りて米作りもさせてもらっています。

## 越後∞の始まり

阿部さんが越後∞に加わる  
きっかけは何でしたか? (太田)

まだ越後∞ができていなかった頃に、当時  
のサークル代表の方がある集落で現在と  
同じような活動をしていました。その集落

の特産品を新大祭で販売することになり、  
僕はその販売スタッフの活動に興味を沸  
いて参加したのがきっかけでした。

越後∞ができたきっかけも  
教えてください。(福野)

新大祭が終わった後、「今後も集落と関  
わっていくのであれば、個人的につなが  
っていくよりも団体として関わっていくほう  
がいいのではないか」と思いました。また  
販売スタッフの人たちも同じような考えを  
もっていたので、「これで終わるのはもった  
いないな」ということで、団体化したのが  
始まりです。

## 感じたのは人のぬくもり

活動していて感じていること、  
考えていることを教えてください。

(太田)

今、集落から人がどんどんいなくなって元  
気がなくなっています。なので僕たち学生  
が月に1回でも交流していくことで、少し  
でも刺激を与えられたらなと思っています。  
ただ集落全体が活性化するには時間が  
必要だと思うので、無理のないつきあい方  
を通して、長い目で見た“元気づけ”をして  
いきたいと考えています。

逆に集落の方々から刺激を  
受けたことは何ですか? (福野)

僕を含め、メンバーには農学部の学生が多  
くいるのですが、実際に農作業をやる機会  
は少ないので、大学で学んだことを実践す  
るのに集落はとて素晴らしい場所だと思いま  
す。集落の皆さんは農作業のプロフェッ  
ショナル集団なので技術的な刺激もあるし、  
あと集落って人と人とのつながりが深く  
て、人のぬくもりが感じられますね。

活動していてよかったことは  
ありますか? (俊樹)

よかったことは活動した分だけ集落の皆  
さんに喜んでもらえることですね。一番うれ  
しかったことは、いつもお世話になってい  
るおばあちゃんから「孫が来ているみてえ  
だ。」と言われたことです。  
また行き始めた頃は、客が来たみたいなき  
らみでもてなしてくれたのですが、何回も行  
くうちに、他人行儀じゃなくなったところが  
すごくうれしいですね。

今日はどうも  
ありがとうございました。(一同)

## QUESTION

### ● 阿部さんが尊敬する人物は…「父親」

父が医者なのですが、知識もいっぱいあるし、何と言ってもすごい責任感のある人なんです。  
また一緒にお酒を飲んで話していると面白いところもあって、寛大な人だなと感じます。なの  
で、自分にとって一番刺激になった人ですね。

### ● 自分にとって新潟大学とは…「チャレンジすればするほど面白い場所!」

遠慮せずにいろんなことをやったらいいと思いますね。どんな活動をしてても多分後悔が残ると  
思うんですよ。僕もいろんなことをやってきたなと振り返っても、まだこんなことをやればよかった  
とかいっぱいあるので、ぜひいろんなことにチャレンジしてほしいかなと思います。

今回から『Who Do?』がリニューアル!!  
 サークルからの「お題」により新大広報学生編集スタッフがレシピを考えて料理を作ります。  
 今回のお題は「日本料理」です。  
 新生『Who Do?』の1回目は「国際ボランティアサークル」(通称:国ボラ)です。  
 台湾からの留学生にもお越しいただきました♪  
 みんなで料理を囲みながらサークルの活動について伺います!

キャベツをたっぷり使って広報スタッフが作ります!!



今回のお題

日本料理

# お豆腐deお好み焼き

材料(2人分)

- 木綿豆腐……………1丁
- キャベツ ……………小さめのもの1/4個
- 卵 ……………1個
- 小麦粉 ……………大さじ7
- だしの素 ……………小さじ1/2
- しょうゆ ……………小さじ1/2
- 桜えび、揚げ玉、マヨネーズ、お好み焼きソース、鰹節……………お好みで
- サラダ油 ……………適量

作り方

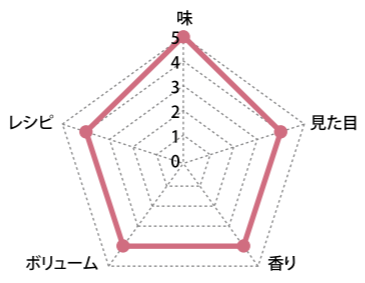
- 豆腐を水切りしておく。キャベツは粗みじんにする。
- ボウルにキャベツ・卵・小麦粉・しょうゆ・だしの素・桜えび・揚げ玉を入れ、そこに手でつぶしながら豆腐を入れてよく混ぜる。
- フライパンを熱し、サラダ油を入れ、②を流し入れて両面こんがり焼く。
- 両面美味しそうに焼けたら皿に移し、マヨネーズ・お好み焼きソース・鰹節をかけて出来上がり。



コツ・ポイント

- 生地は少しゆるめなので、ひっくり返す時要注意!!
- まずはしっかり片面を焼いてから、そーっとひっくり返す。
- 小さめサイズの物を作ると、返しやすい。

気になる国ボラのみなさんの評価は?



食物の専門家、教育学部准教授 山口智子先生からの

## ワンポイントアドバイス

お好み焼きは、だれでも手軽に作りやすく、キャベツもたっぷり使えて野菜を摂取しやすいメニューですね。そこに豆腐を入れたことでタンパク質が加わり、より栄養価が高まっています。大豆は“畑の肉”と言われるように、良質なタンパク質を含んでおり、その加工品である豆腐は値段も安く、ひとり暮らしの学生にはもってこいの食材ですね。緑黄色野菜が不足しているので、ニンジンをすりおろして加えると良いでしょう。

いただきます



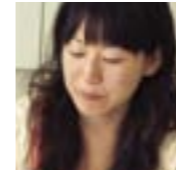
## 出来上がった料理を囲んで、国ボラのメンバーに活動について聞きました!



■ 剣持さん



■ 趙さん



■ 黒川さん

### Q1 国ボラに入ろうと思った理由はなんですか?

剣持 ■ 洋画のように黒人の友達と「Hey! What's up?」と話したかったため。  
 田中 ■ 留学生と交流できるので楽しそうだったため。  
 黒川 ■ さまざまな国のひとと交流して自分の世界を広げたかったため。

### Q2 国ボラに入って変わったことはなんですか?

剣持 ■ 文化系のサークルなので運動をしようと思えるようになったこと。  
 田中 ■ 自分の意見を持つことの重要性に気づいたこと。  
 黒川 ■ 社会的になれたこと。

### Q3 国ボラに入ってよかったこと、またはうれしかったことを教えてください。

剣持 ■ 留学生に「国ボラがあったから留学が楽しかった」と言われたこと。  
 田中 ■ 外国人との壁を感じなくなったこと。  
 黒川 ■ 日本以外の国について知ることができたり、他国の言語を留学生から教えてもらったこと。



### Q4 留学生とは何語で話しているのですか?

剣持 ■ 日本語です。英語は並以下の以下です(笑)  
 田中 ■ 基本的には日本語ですが、たまに中国語を覚えてもらうこともあります。  
 黒川 ■ Japanese

### Q5 国ボラのここが好き!というところを教えてください。

剣持 ■ 基本的にはマジメだけど、バカなことが好きなひとが多いところ。  
 田中 ■ いろんな国のひとと触れ合える!  
 黒川 ■ みんなフレンドリーでノリがいいところ♡  
 陳 ■ 日本語で自分の意見を言うときも、上手に理解してくれるところ。  
 蘇 ■ みんな親切でわからないことがあったら教えてくれるところ。



■ 陳さん



■ 田中さん



■ 蘇さん

## 国際ボランティアサークル紹介

国際ボランティアサークルでは「日本語教室」や「コーヒーアワー」というイベントを行っています。どなたでも自由に参加でき、留学生と楽しくお話することができます。興味のある方はホームページにアクセスしてみてください!

新潟大学国際ボランティアサークル

検索

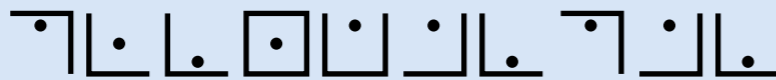
HPIにはイベントの詳細やブログなど、面白く、楽しい情報が満載です!ぜひ チェックしてみてください☆



今回はこれまでのクロスワードから趣向を変えて、暗号の解説です。  
次の暗号は、一つ一つがアルファベットに対応しています。ヒントを参考に解説してください。  
答えはP14のQRコードから新大広報携帯HPへアクセス!

問題はこれ!

なんと書いてあるでしょうか?

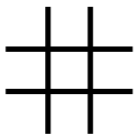


ヒント1

“A”は  で、“Z”は  です。

ヒント2

この図が基本です。



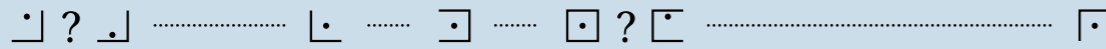
ヒント3

次の文字は暗号でこのように表します。

“CAP”= 

“NHK”= 

最後に、分かっているものを書き並べてみましょう。

 ? ? ..... ? ..... ? ..... ? ? ..... ?  
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

さあ、あなたは解読できますか!? 【制作】花溪

## 食べ物あれこれ

普通は食べない物を食べた経験、地元と新潟の違いを感じたり、他の人の自炊術が気になったり。聞くと面白い、食べ物関係の話。新大広報学生編集スタッフの「食べ物あれこれ」。共感? 役立つ? 呆れる? そんな話、入れてみました。

30人分の  
巨大プリンを  
冷蔵庫で冷やしたら  
12時間もかった。

子供の時に食べた  
クワガタゼリーは、  
後味がほんのり日かった。

★よい子はまねしないでね!

★新潟のコンパニニではついでなかった!!

「イタリヤン」っていう  
非イタリヤンな  
食べ物が新潟にあるらしい。

★新潟のB級グルメとして有名だね!

犬用のクッキーは意外にモ  
濃厚なミルク味だった!!  
犬用アイスはジャガイモ味。

★犬にとっては絶品?

器の重さを引きまわれ  
ドロドロの  
クッキーができた...

★ホットケーキ  
ミックスを混ぜ、器  
に8分目まで入れ  
て、1分〜1分半手  
前。蒸しパンのでき  
上がり!

★ひき肉料理にマ  
ヨネーズを入れる  
とうまみが逃げに  
くい。

★鍋に卵とその卵  
が2cmくらい浸かる  
程度の水を入れ、  
中火で蒸すとゆで  
卵が出来る。

★フチのエビせん  
にバナナアイスをつ  
けたら美味!

★角が固くなった  
食パンは、血のに  
せレンジ用プラス  
チックカバーを掛け  
て30秒チンすると  
フワフワになる。

豆知識

【編集】鏡、高橋

## 新大広報スタッフの おすすめ

このコーナーではスタッフおすすめのイベントやスポットなどを紹介します!!  
今回は旭町キャンパスの新潟大学旭町学術資料展示館  
(通称:あさひまち展示館)をピックアップ。

### 01 新潟大学旭町学術資料展示館 (通称:あさひまち展示館)

あさひまち展示館にあるのは、新大のさまざまな学部に関連した資料です。たとえば工学部からは実験器具、理学部からは化石、鉱物。人文学部からは貴重な人骨標本、これは医学部ともつながりのある展示です。ほかには教育学部、歯学部の資料があります。



壺形埴輪

県内で出土した、  
唯一の埴輪です。



キログラム原器

質量の単位であるキログラムの  
基準の「キログラム原器」です。



【取材・記事】竹石

- すらっと並んだ展示を見ながら、館内のいすに座って一休み。運びがいいと先生がやってきます。名前を覚えてもらいましょう。
- ああ、もうこんな時間。そろそろ帰らなきゃ。うわー、夕焼けがきれい! こんな週末最高です。
- 週末だけでなく、平日もやってます。(注)授業が午前だけなら、午後は展示館で過ごす...なんてことも。こんな平日最高です。
- (注)...月・火は除く

石剣  
見ての通り「剣」ですが、  
なんと石でできている!

入館無料!です。  
ぜひいらしてください。

新潟大学旭町学術資料展示館  
(通称:あさひまち展示館)

開館:水曜日~日曜日の10:00~16:30  
所在地:新潟市中央区旭町通2番町746  
電話番号:025-227-2260



## 投稿方法

お手持ちの携帯電話でQRコードを読み取ると、新大広報携帯HPへアクセスできます。新大広報に関するご意見・ご感想もこちらからどうぞ。暗号パズルの答えもご用意しています! 皆さんからの便りをお待ちしています。



新大広報に対するご意見・ご感想も  
こちらの携帯HPからどうぞ。

QRコードが読み取れない場合や、  
パソコンからの投稿はこちらから

[http://www.niigata-u.ac.jp/mobile/shindai\\_kouhou.html](http://www.niigata-u.ac.jp/mobile/shindai_kouhou.html)



## お便り募集

学生スタッフが取材に行きます!

「あなたが企画したイベント、活動しているサークル・部活etc...新大広報で紹介しませんか? (注) 新大広報に載りたい載せたい! そう思ったあなた! ぜひご連絡を! 宛先は左のQRコードにアクセス、または下記のサイトからお願いします。みなさんからの応募お待ちしております!

(注) ※新大生が中心となって運営しているイベント、団体に限ります。  
※新大広報は年4回の発行です。取材時期と発行時期は異なりますのでご了承ください。

個人情報の取り扱いについて 新大広報では皆様からお預かりした個人情報につきまして、責任をもって管理することをお約束いたします。アンケートや紙面へのご意見、掲載希望他、お預かりした個人情報は新大広報の企画の参考にさせていただきます。この目的以外に使用したり、第三者に提供したりいたしません。ご記入いただいた個人情報に変更が生じた場合は速やかに上記アドレスまでご連絡ください。また、左記にご連絡いただくことによって、ご本人に限り個人情報の開示・削除・訂正をもとめることができます。 ※QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。



# 編 集 後 記

新スタッフの大量加入によってこれまでにない大所帯でスタートを切った、今回の新大広報。いざやってみれば、はじめてのことだらけ、不安や戸惑いもたくさんあったけれど、終わってみればどれもいい思い出(?)。そんなスタッフたちの思いのたけ、**五七五**でぶつけてみました!

## ●学生編集スタッフ



**高野**  
新企画  
こんなに大変  
だったとは



**松野**  
思い知る  
伝えることの  
奥深さ



**小川**  
誤字なくし  
エレガント文  
目指したい



**小林**  
緊張で  
しどろもどろな  
アポ電話



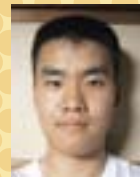
**佐藤(俊)**  
メンバーが  
たくさん増えて  
万々歳



**清野(絵)**  
記事読んで  
くれた人たち  
ありがとう



**佐藤(優)**  
ことしから  
新メンバーが  
増えました



**竹石**  
達成感  
確かに忙し  
かったけど



**鏡**  
新大の  
気になるスポット  
募集中



**福野**  
安心な  
僕らは旅に  
どうぞ!



**太田**  
自らが  
手がけた記事に  
悔いはなし



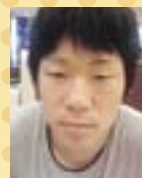
**増田**  
発音練習で  
しこられました  
小山アナに



**高橋**  
車学行き  
懐かしい顔  
クラス会



**花溪**  
初仕事  
忙しかったね  
新企画



**新井**  
アポとって  
取材をするよ  
新大広報



**大塚**  
遅くなり  
いろいろ迷惑  
ごめんなさい



**川澄**  
食欲は  
ひとを動かす  
原動力



**山口**  
初取材  
どぎまぎしながら  
いい経験



**佐々木**  
人も増え  
日々進化する  
新大広報



**一箭**  
スタッフの  
努力みてとれ  
目を細め



**境野**  
一年生  
増えてうれしい  
新体制



**清野(雄)**  
表紙しか  
作ってなくて  
気まずいわ

## ●職員編集スタッフ

**「このメンバーで、これからも新大の魅力をお届けします!  
次号は来年1月発行予定です。どうぞお楽しみに。」**

## 【新大広報 Back Number】

[http://www.niigata-u.ac.jp/adm/c\\_forum/index.htm](http://www.niigata-u.ac.jp/adm/c_forum/index.htm)

新大広報のバックナンバーは上記のURLから見るができます。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。【表紙イラスト】清野(雄)

## 新潟大学ホームページ

<http://www.niigata-u.ac.jp/>

2010年秋号 [No.176]

編集・発行／『新大広報』学生編集スタッフ  
新潟大学学務部・新潟大学広報センター  
印刷／(株)第一印刷所



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。